

# 8月の記録的大雨 農地に甚大被害



前線や低気圧の影響により、津軽地方では8月3日から断続的に雨が降り、本県初となる線状降水帯も発生。記録的な大雨は、県内各地に河川の氾濫や土砂崩れなどの被害をもたらしました。

本市においても8月9日から12日までの間に、豊富雨量観測所で1時間に最大43ミリのバケツをひっくり返したような激しい雨を記録しました。

市内の道路は18路線が冠水し通行止め。岩木川は増水し、粕地区のリング園が冠水。山田川の流域にある田光沼が決壊したほか、出精川も越水するなど、広範囲にわたって水田も冠水。さらには収穫間近のメロンやスイカも水に浸かり廃棄を余儀なくされました。

人的な被害はありませんでしたが、市の基幹産業である農業は大打撃を受け、農家の落胆は計り知れません。

田光沼（左側）が決壊し、農地（右側）へ流出する様子（8月16日撮影）

## 警戒レベル4 避難指示を発令

8月9日午後4時50分、市は土砂災害の危険が高まったとして、丸山、菰穂、館岡、筒木坂、牛潟、車力、富泡地区の4、483世帯1万1,066人に避難指示を発令。午後6時30分には、岩木川の水位が危険水位に達する恐れがあるなどとして、稲垣、柏、木造、車力地区の1万1,505世帯、2万9,062人に避難指示を拡大しました。

8月10日、田光沼の堤防が約50メートルにわたって決壊したため、平滝、筒木坂、館岡地区の住民に避難を呼び掛けました。8月11日には、稲垣前村排水路の水位が上昇したため、前村、下派立、中派立地区の住民にも避難を呼び掛けました。

市では、松の館や柏ふるさと交流センター、車力小学校など市内17カ所に避難所を開設。延べ488人（244世帯）が避難し、不安な日々を過ごしました。

発令した土砂災害関連の避難指示は8月10日午前7時30分〜40分に解除。岩木川関連の避難指示は8月11日午前8時に解除。山田川関連の避難指示は8月12日午後6時に解除しました。



## 日頃から避難場所を確認し 自分の命を守る行動を

市では、今年3月に新しい「つがる市防災ハザードマップ」を全世帯に配布しました。今一度、自分が住んでいる場所からどこへ避難したらよいか、危険な場所がどこにあるのかを確認するなど、一人一人が日頃から防災意識を高め、自分の命を守るための行動をとることが重要です。

ハザードマップは市ホームページ（QRコード）にも掲載しています。（問い合わせは、防災危機管理課 ☎4212111内線344まで）



広範囲にわたって冠水した農地

（8月10日撮影）

## 農地の被害面積は2、895ヘクタール 被害額は31億8、945万円

本市では農地が冠水し、ブランド農産物8品目をはじめ、さまざまな作物が被害を受けました。特に水稲は、作付けの約13割にあたる1、075ヘクタールが被害を受け、被害額は11億7、371万円にもほり、被害総額の約37割を占めます。

作物	被害面積(ヘクタール)	被害額(万円)
水稲	1,075	11億7,371
メロン	92	4億3,466
ナガイモ	69	4億1,115
リンゴ	90	3億738
ネギ	54	2億3,033
ゴボウ	50	1億9,682
スイカ	33	1億1,891
大豆	1,073	7,495
その他	359	2億4,154
計	2,895	31億8,945



冠水した収穫間近のメロン



出精川(写真奥)からあふれた水が地面を削り土砂とともに流れ込んだ水田

## リンゴの木が 高さ260センチまで冠水

柏地区でリンゴを栽培している成田健司さん(写真左)。2ヘクタールの園地全てが冠水。高い所だと地面から最大で260センチくらいまで浸水したといいます。成田さんは「収穫できるのは冠水しなかった木の上の部分1割あるかどうか。リンゴの木が冠水し、来年花芽がなるかどうか心配。市には来年に希望が持てるような政策をやってほしい」と話しました。



成田さん(左)の園地で被害に遭ったリンゴを確認する倉光市長

## 農業を続けられるよう 支援します

市では、被災された方が生産意欲を失うことなく来年も農業を継続できるように、見舞金と併せて作物に応じて種子・種苗費や薬剤散布費を支援します(左表参照)。まだ手続きをされていない方は、10月31日(月)までに農林水産課(☎42-2111内線421)へご相談ください。

このほか、被災された方には、市税の減免や就学費の援助、保育料の減額などの支援も行います。支援内容は市ホームページ(QRコード)にも掲載していますので、そちらをご覧ください。各担当課へご相談ください。



## 災害支援のための寄付を 受け付けています

ふるさと納税ポータルサイトでは、災害支援のための寄付金を受け付けています。お礼の品の送付はありませんが、通常のおふるさと納税と同様に寄付額2千円以上であれば税金の控除を受けられ、つがる市在住の方も寄付ができます。

また、市役所と各出張所には募金箱を設置し、10月31日(月)まで募金を受け付けています。いただいた寄付金は、復旧事業や今後の防災対策に活用します。皆さまの温かいご支援をよろしく願います。

詳細は市ホームページ(QRコード)をご覧ください。



## 支援金(10アール当たり)

被害作物	支援内容	単価
水稲 ※穂まで水が3日以上浸かった水田で、市が被害を確認した地域のみ対象	種子助成(主食用米のみ)	1,000円
	薬剤散布費(主食用米のみ)	2,000円
	土地改良水利費(田光沼周辺で泥水を被った農地)	1,000円
リンゴ	薬剤散布費	5,000円
ナガイモ	種苗費助成(上限は合算で100万円)	2万8,000円
メロン		4万1,000円
スイカ		3万円
ネギ		1万4,000円
トマト(ハウス)		6万8,000円
ミニトマト(ハウス)		6万4,000円
その他野菜・花き		9,000円

## 見舞金(1戸当たり)

主食用米・リンゴ・その他野菜等	3万円
大豆・飼料用米・飼料作物	2万円

※複数の作物が被害に遭った場合は、高い方の額のみ交付